

CDPシティ： 2022年 導入編

CDP Worldwide-Japan
2022年4月

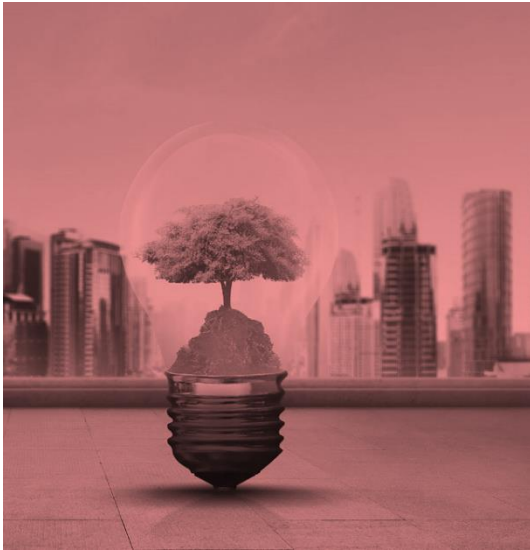
目次

- **CDPとは (p.3)**
- **CDP-ICLEI Trackを活用した自治体の環境情報開示 (p.6)**
- **2022年CDPシティへの報告 (p.19)**

CDPとは



CDPの概要



- ▼ CDPは、2000年に英国で設立された**国際環境NGO**。CDP Worldwide-Japanは、日本法人として日本における取組を促進。
- ▼ 世界中の**機関投資家・購買企業の要請**を受けて、企業の**環境情報開示**を促進する活動を実施。
- ▼ ESG情報開示の「E」に関する**グローバルスタンダード**。2021年度は13,000社を超える企業がCDPに情報を開示。
- ▼ 世界中の機関投資家はCDPデータを**意思決定**に活用。
- ▼ **都市・地域**の情報開示も促進しており、2021年度は1,100以上の都市・州・地域がCDPに情報を開示。

**2021年は
日本の189自治体が参加**

CDPの活動拠点



▼ CDPは国際的な団体であり、地域オフィスと地域パートナーは50か国に存在します。



CDP-ICLEI Trackを活用した 自治体の環境情報開示





「**情報開示は、気候危機に対するグローバルな戦いにおいて最も強力なツールの一つであり、その促進をすることで気候変動対策が進められています。毎年より多くの企業や自治体が、開示された情報を利用して気候変動対策を主導していることが最新のデータにより示されています。COP26で世界が認識したように、各国がその情報を利用して成功の鍵となります。透明性を高めて環境情報を報告することで、排出削減やレジリエンスの構築においてより野心的な目標を設定することに繋がり、気候変動対策を加速させることができます。**（仮訳）」

Michael R. Bloomberg

UN Special Envoy for Climate Ambition & Solutions

Founder of Bloomberg LP & Bloomberg Philanthropies

Global Ambassador for the Race to Zero & Race to Resilience Campaigns



なぜ自治体は環境報告をするのか



国際的な動きに参加

環境影響を測定してその進捗を他の自治体、市民、企業、投資家と共有する、国際的なコミュニティの一員となることができます。2021年には、1,100以上の自治体がCDPの質問書に回答した結果、環境データを国内および国際パートナーに提供し、地方自治体の気候変動対策の推進にポジティブな影響を与えました。



政策形成や意思決定に影響を与える

自治体の行動を主要な意思決定機関に共有することで、政策決定に影響を与えることができます。例えば、国連気候変動枠組条約（UNFCCC）、世界保健機関（WHO）、各国政府、NGO（WWF（世界自然保護基金）等）、自治体のネットワーク（世界首長誓約、C40等）などが挙げられます。



1.5°C目標に整合し、自然を優先する、公正な世界に貢献する

公正な気候変動対策の加速を促すための、自治体の独特の立場を示してください。自治体は、新技術や革新的な政策を作り出し、国が決定する貢献（NDC）を強化して野心を高めるために国政府に緊急の行動を促していくための、重要な役割を最前線で担っています。

CDP-ICLEI Track は、簡素化された報告方法で、より強固なデータを収集し、気候変動対策における自治体のステップアップを支援します。

- ▼ **持続可能な経済への移行において、自治体の果たす役割は極めて重要です。**
- ▼ **CDPは、自治体が自らの環境影響を計測、管理、開示し、そこで暮らし働く人々にとってより良い場所となるよう努めるのをサポートしています。**

CDPシティへの報告のメリット



全てのイニシアチブへ
一度で報告する



包括的な支援を受ける



データギャップの把握と
進捗のベンチマーク



資金調達の
機会を得る

CDPのデータを活用して、



自治体ネットワーク
への報告

- ▼ ICLEI
- ▼ C40
- ▼ 世界首長誓約 (GCoM)
- ▼ Race to Zero, Race to Resilience



インサイト、ツール、サービス、ナ
レッジエクステンジにアクセス

- ▼ CDP回答に関する個別支援
- ▼ 科学に基づく目標設定の支援
- ▼ 研修ウェビナー、ガイダンス資
料の提供



透明性と説明責任

- ▼ 進捗状況の確認
- ▼ データ品質の向上
- ▼ CDPのOpen Data
Portalでデータにア
クセスする

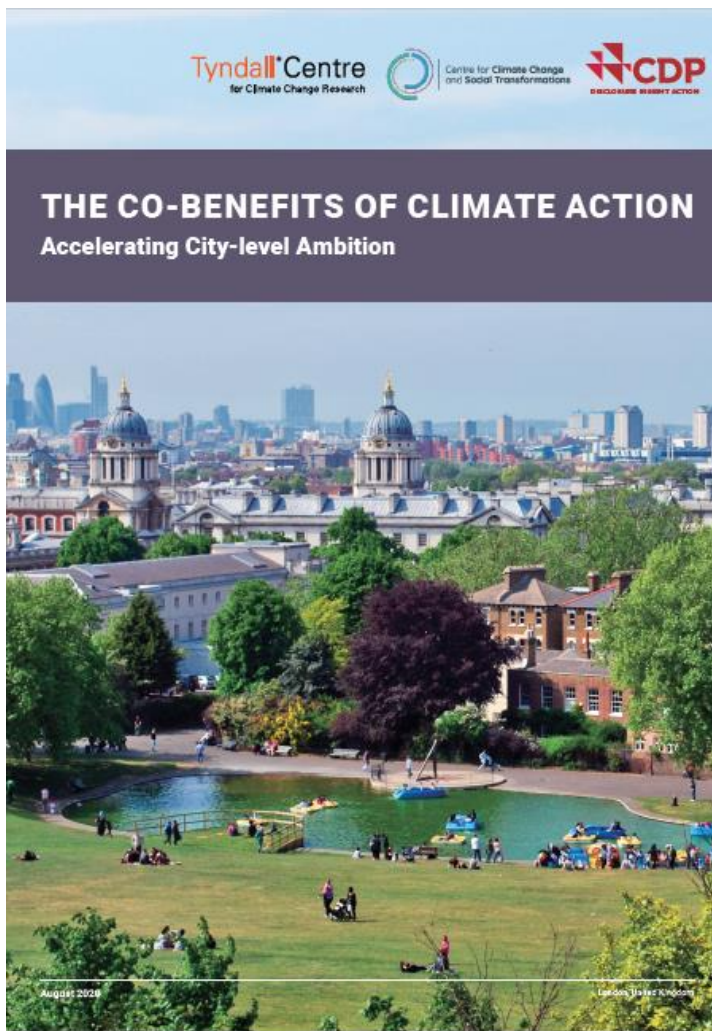


財務のベスト
プラクティスと整合

- ▼ 気候関連財務情報開
示タスクフォース
(TCFD) の提言に沿
った質問書
- ▼ 気候変動ファイナン
スの投資家向け準備

(参考資料) 都市の気候変動対策のコベネフィット

＊ ＊ 日本語版は4月末公開



▼ 排出量を削減し、脆弱性を減らす行動は、気候変動対策としてのベネフィット（利益）だけでなく、都市と市民にとって**複数のコベネフィット＊**を得ることができます

＊ コベネフィットとは、一つの政策、戦略、または行動計画の成果から生まれる複数の分野における複数のベネフィット

＊ ＊ CDPウェブサイトでは事例を紹介 ([リンク](#))

CDPシティ : CDP-ICLEI Track の活用



参加は任意で無料



日本語に対応



回答は埋められる
だけ埋める形式



各種ガイダンス
を提供

(公開／非公開は選択可能)

- ▼環境情報を一つの場所に統合
- ▼CDPとICLEIにデータを自動的に共有
- ▼他の枠組み(GCoM、C40)との連携・対応
- ▼システム内で報告するイニシアチブの選択が可能

包括的なサポート



- ▼ CDPは報告データを評価し、気候変動への適応、緩和、透明性に関するパフォーマンスを示す**CDPスコア**を提供します。
- ▼ CDPは、**すべての言語で提出された回答をスコアリング**します。提出言語はスコアに影響しません。
- ▼ CDPは、毎年 **最も高いスコアを獲得したAリスト自治体を表彰**します (A List Campaign)。この表彰を通して、自治体の市民に対する透明性をサポートし、投資家からの評判を向上させることができます。
- ▼ また、CDPは、レスポンスチェック、**スコア・フィードバックレポート**や会議、ウェビナー、ガイダンス資料などを通じて、包括的なガイダンスを提供します。











開示から 行動へ

CDPは、スコアリング基準に基づいて、シティ質問書への各自治体の回答を評価します。また、パリ協定の目標に沿って積極的な行動をとっている自治体の気候リーダーに向けた道のりの進捗を確認します。

スコアバンド



リーダーになるために

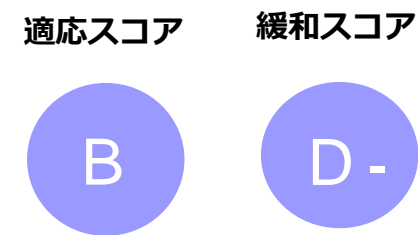
-  市長からの政治的コミットメント
-  企業との協働
-  リスク評価
-  自治体全体の再生可能エネルギー100%への目標
-  適応計画
-  水セキュリティに対するリスク評価と行動
-  自治体全体の温室効果ガス排出量インベントリ
-  透明性の高い良質な環境情報を報告
-  自治体全体の行動計画
-  自治体全体の温室効果ガス排出量削減目標

CDPシティ：スコアフィードバックレポート



- 自治体の回答に対し、スコアとフィードバックレポートを提供
- 気候変動対策の情報開示と実績の全体を対象とするスコアに加えて、緩和と適応の分野別のサブスコアを提示

自治体の地域 東アジア
国 日本
最終スコア D



- 地域の平均値との比較
- 得点の説明と改善のためのリソースの提供
- 日本語でレポートを提供

Ville de Montreal
CDP Cities 2018

This snapshot report presents the score that Ville de Montreal received for its response to CDP's 2018 questionnaire. CDP uses the scoring methodology to incentivize cities to measure and manage environmental impacts. Responses are scored by CDP and CDP's scoring partner ADEC, using the 2018 CDP Cities Scoring Methodology. Scores are private to cities although CDP will recognize and reward the highest scoring cities.

Score	Scoring band	Regional Average Score	Global Average Score
A-	Leadership	~25	~100

Scoring measures progress towards environmental stewardship

The bar chart above shows the count of scores achieved by cities in North America. The score for Ville de Montreal is shown in red.

The bar chart above shows the count of scores achieved by cities globally. The score for Ville de Montreal is shown in red.

Scoring band explanation

A Leadership city demonstrates best practice standards across adaptation and mitigation, has set ambitious but realistic goals and made progress towards achieving those goals. Cities in the Leadership band have strategic, holistic plans in place to ensure the actions they are taking will reduce climate impacts and vulnerabilities of the citizens, businesses and organisations residing in their city.

	Adaptation	City-wide emissions	City-wide emissions reductions	Climate & social risk	Opportunities	Water supply
Ville de Montreal	A-	A	D	A	B	C
North America Average	D	D	D	C	C	D
Global Average	D	D	D	D	D	D

Find more about CDP Cities at <https://www.cdp.net/en/cities>

Information reported

This panel indicates what information was provided by Ville de Montreal in the CDP's 2018 questionnaire which was used to determine your score. It also highlights some key points disclosed by cities globally and within your region.

Information disclosed by Ville de Montreal	% North America	% Globally
Risk/Vulnerability Assessment	51%	45%
Climate Adaptation Commitment	70%	58%
Climate Adaptation Plan	35%	33%
Climate Action Plan	56%	42%
City-wide GHG Emissions Inventory	74%	54%
City-wide Emissions Reduction Target	65%	46%
Renewable Energy Target	43%	31%

Your city is committed to the Global Covenant of Mayors for Climate & Energy

Your city is committed to reduce its emissions by 30% by 2020

Transparency
Your city disclosed publicly

How to improve your city's score

Sections Questionnaire	Next steps Leadership band
Introduction and governance	Consider sharing your process for integrating sustainability into mainstream activities by creating a case study of your city. Join international city networks to pass on the knowledge your city has to others looking for best practice leadership.
Hazards and Adaptation	Continue regular update and monitoring of risk assessment involving vulnerable populations. Commit to ambitious adaptation targets to ensure vulnerable populations are protected in future. Consider the interaction between your adaptation and mitigation actions.
Opportunities	Cities can showcase climate resilient infrastructure projects to private sector investors through our Matchmaker initiative.
City-wide Emissions	Ensure regular update and review of emissions inventory. Where changes occur in the methodology or more data is obtained, be sure to update previous inventories so data is comparable over time. Consider undertaking a consumption-based inventory for the city, which identifies GHG emissions from goods and services consumed within the city.
Energy and Emissions reduction	Many cities are beginning to set emissions reductions targets that are more ambitious than the NDCs of their national governments. Carbon-neutral or zero carbon targets are increasingly being set by cities. Consider updating your city's action plan to incorporate a target aligned with or more ambitious than the Paris agreement goals. Consider developing a 100% renewable energy target.
Water	Ensure water risk is regularly assessed and incorporated into considerations when identifying emissions reduction and adaptation goals.

[Click here](#) for a more detailed explanation of the score per band for each section of the questionnaire, along with CDP's recommendation for cities who receive a Leadership (A-) band score.

Resources

Benchmark Against Your Peers	Explore Data	Connecting to Finance
To see how your city compares to other cities, check out CDP Analytics	Explore all public information by accessing our Open Data Portal	Showcase relevant projects through our Matchmaker Program

CDP シティAリスト (A List Campaign)



- ▼ Aリストの都市数は2018年の43から2021年には95に増加
- ▼ 2021年、Aリスト入りとなった日本の自治体は、3都市：
東京都、京都市、横浜市
- **（各自治体のスコアはAリストを除いて非公開）
- ▼ Aリスト自治体表彰式の開催

→[録画リンク](#)



科学に基づく気候目標 (SBT: Science-Based Target) の設定支援



- ▼ 自治体領域全体の排出量を対象
- ▼ 1.5°C目標の経路との整合性
- ▼ 歴史的な排出量と現在の開発レベルを踏まえた公平性の考慮
- ▼ 長期的なネットゼロ目標、中期的な1.5°C目標を含む
- ▼ SBTは、「シティ・レース・トゥ・ゼロ」の重要な要素であり、2022年のCDPスコアリング基準の一部となります。
- ▼ 「2022年シティ質問書」に回答することで、各自治体の気候目標が1.5°C目標と整合しているか、[SBTネットワーク](#)のパートナーによる検証を受けることができます。

CDP-ICLEI Trackを通じた 複数のグローバルイニシアチブへの報告



- ClearPathから既存データを簡単にインポート可能
- ICLEIのGreen Climate Cities Program, Ecomobility, Ecologistics, 100% Renewable Energy, ICLEI Circulars 等のイニシアチブへの報告



- 全てのバッジに対応した報告
- コンプライアンス状況の事前フィードバックを受領



- CIRIS Toolからインベントリデータを簡単にインポート可能
- C40メンバーシップ*に必要なすべてのデータを報告 (*招待ベース)

RACE TO ZERO

RACE TO RESILIENCE

- レース・トゥ・ゼロのコミットメントに必要なすべての要件を報告
- 科学に基づく目標の整合性に関するフィードバック
- ▼ レース・トゥ・レジリエンスへのコミットメントのすべての要件を報告

CDP-ICLEI Trackは、環境報告作成における、あらゆるニーズに対応するOne-Stop Shopです。

2022年のCDPシティへの報告



CDPシティの報告プロセス



2022年のCDPスコアリングのための回答提出締め切りは7月27日（水）です。

*他のイニシアチブ・プロジェクトの報告締め切りはそれぞれ異なります。

2022シティ質問書の構成と環境/気候トピック



ガバナンスモジュール

- 気候変動問題の監督
- 多層ガバナンス
- ステークホルダーの協働

評価モジュール

1. リスクと脆弱性の評価
2. 排出量インベントリー
3. セクター別データ

目標モジュール

4. リスクと脆弱性の評価
5. 排出削減目標
6. エネルギー目標および他のセクター別目標

計画立案モジュール

7. 計画立案
 - 気候変動対策
 - 資金調達

対策/行動モジュール

8. 適応策
9. 緩和策

CDPスコアリング： 2022年の「必須条件」



緩和

- 排出インベントリ
- 温室効果ガス（GHG）削減目標
（科学に基づく：[Science-Based](#)）

適応

- 気候リスクと脆弱性の評価
- 適応目標

気候変動対策行動計画

- 緩和策を含む
- 適応策を含む

C: 認識、B: マネージメント、
A: リーダーシップ、のスコアバ
ンドにおいては、各バンド内
での「必須条件」が設定されて
おり、それを満たさないと次
のスコアバンドへは進めませ
ん。

2022年5月に発表される
「2022年スコアリング基準」の別資料
にて詳細をご確認ください。

日本語でのリソース（CDPジャパンウェブサイト）

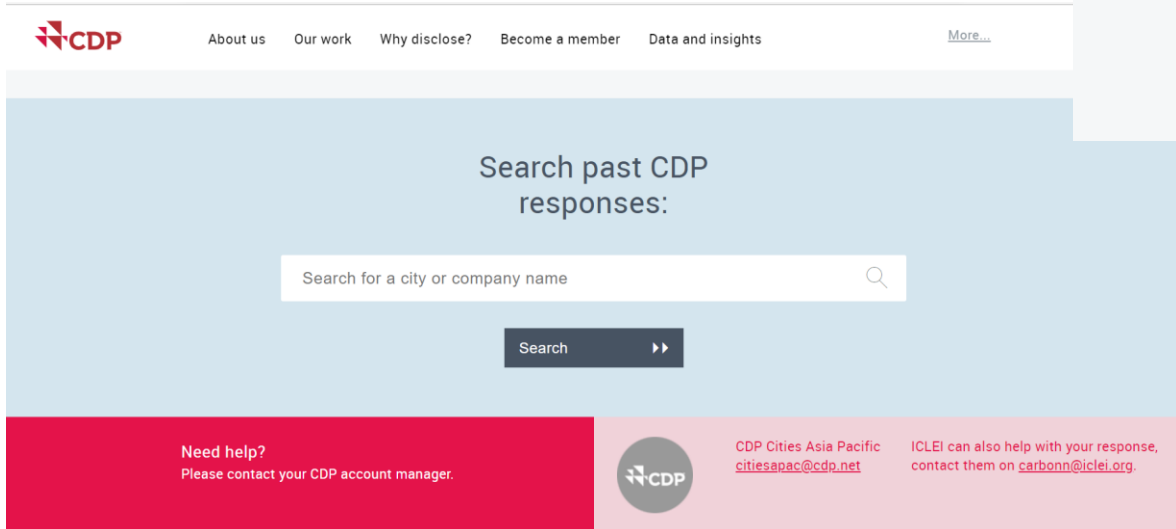
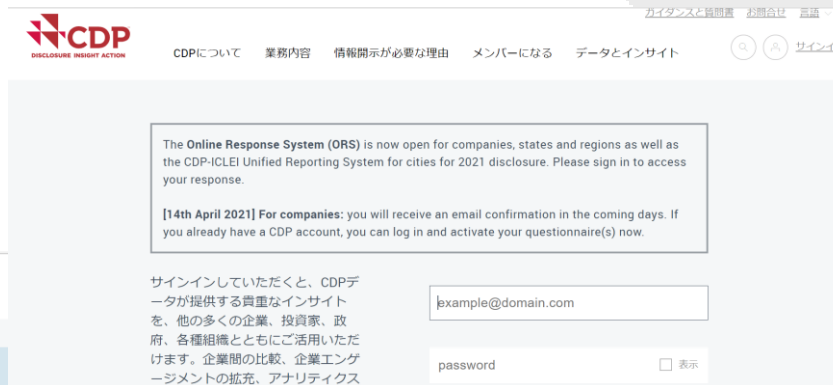


- ▼ **情報開示支援サイト（自治体向け質問書&ガイダンス）** : [リンク](#)
 - ▼ 2022シティ質問書の概要
 - ▼ 2022年シティ質問書
 - ▼ 2022年シティ報告ガイダンス
 - ▼ 2022年シティスコアリング基準
 - ▼ CDP-ICLEI Track 操作画面案内
 - ▼ その他各種補足資料やウェビナー案内
- ▼ **その他自治体向け情報** :
 - ▼ 自治体向けSBT（科学に基づく目標）紹介 : [リンク](#)
 - ▼ CDPシンポジウム「自治体の環境情報開示とサステナブル金融」 : [リンク](#)
 - ▼ CDP 2021年自治体報告結果レポート : [リンク](#)
 - ▼ よくある質問: [リンク](#)

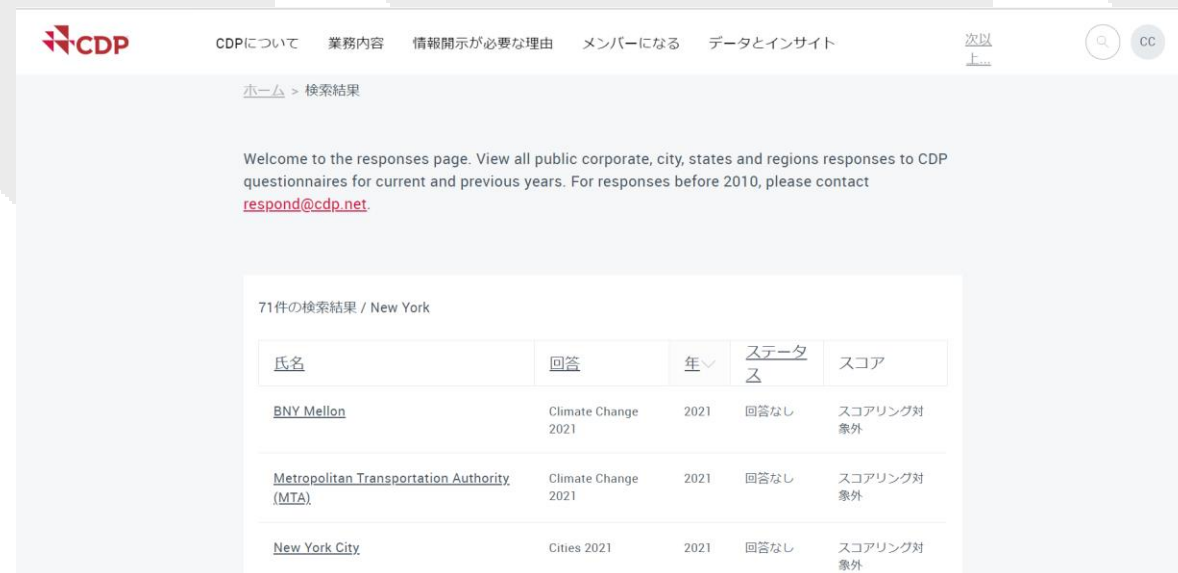
他自治体の過去の回答の参照方法



① CDPウェブサイトサインイン→



←② 貴自治体のダッシュボードの一番下に左のような検索画面がありますので、こちらから閲覧したい自治体を英語で入力してください。



③ 右のような画面に変わり、下線のある自治体名をクリックすると、過去の回答リストが表示されますので、閲覧したい年の回答をクリックしてください。



CDP ジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



CDPシティ窓口メールアドレス:
cities.japan@cdp.net

***The platform will remain open for non-scored submissions until end of December 2020**